

社会倫理研究所2017年度第2回懇話会
『「社会的レジリエンス」研究プロジェクト』

都市と歴史から考える サステイナビリティ

日時：2017年7月30日（日）14:00～17:30

場所：南山大学 R棟5階 R52教室 （13:30開場）

演題：「集積と多様性：
近代大阪の産業発展から何を学ぶか」

講師： 沢井 実

（南山大学 経営学部教授／近代日本経済史）

コメンテータ： 吉永 明弘

（江戸川大学 社会学部准教授／環境倫理学）

司会： 籠橋 一輝

（南山大学 社会倫理研究所第一種研究所員・国際教養学部講師）

「持続可能な発展」の実現が叫ばれてからはや30年経ちますが、それを都市や地域レベルで実現するための具体的な方策については、必ずしも明確な道筋が得られていません。都市や地域レベルで持続可能な発展を実現するためには、私たちはどのような制度的基盤を構想すれば良いのでしょうか。それを明らかにするための糸口として、今回は過去の産業発展の「歴史」に学ぶというアプローチをとってみたいと思います。今回の懇話会では、近代日本経済史がご専門の沢井実先生をお招きして、「集積」と「多様性」をキーワードとして、明治期から日中戦争期までの近代大阪の産業発展のプロセスと、それを支えた歴史的な諸条件についてご講演頂きます。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone: (052)832-3111(内線3413-3414) Fax: (052)832-3703

E-mail: ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>